

## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月9日

上場会社名 兼房株式会社

上場取引所 東名

コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡邊 将人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 鈴木 仁

TEL 0587-95-2821

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	4,989	8.6	510	35.8	560	40.2	410	42.9
2018年3月期第1四半期	4,595	6.0	375	66.8	399	—	287	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △17百万円 (△119.5%) 2018年3月期第1四半期 90百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	29.53	—
2018年3月期第1四半期	20.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	27,993	22,770	81.3	1,638.13
2018年3月期	27,790	22,996	82.8	1,654.39

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 22,770百万円 2018年3月期 22,996百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.50	—	15.00	22.50
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	7.50	—	18.50	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	9,630	2.7	860	3.5	860	0.7	540	△10.4	38.85
通期	19,550	0.0	1,810	3.9	1,810	13.7	1,210	15.7	87.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	14,310,000 株	2018年3月期	14,310,000 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年3月期1Q	409,691 株	2018年3月期	409,691 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	13,900,309 株	2018年3月期1Q	13,900,461 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	11
(1) 販売の状況 (製品別売上高、国内・海外別売上高)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国・欧州の成長率に鈍化傾向が見られるものの、先進国では概ね緩やかな景気回復基調が続いています。また、新興国についても、中国などアジア諸国中心に、輸出拡大のみならずインフラ投資や個人消費などの内需が堅調です。わが国経済も、企業の輸出・生産活動の持ち直しが進み、個人所得の改善とともに省力化・効率化のための設備投資マインド改善の動きが見られます。しかしながら、米国発の保護主義的な通商政策や政策金利の引き上げが先行きの不透明感を強めているとともに、国内では労働需給の逼迫や資源価格の上昇といった懸念材料があり、国内外とも楽観視できない状況です。

このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から増加となりました。一方、海外での売上も、特に欧州市場・中国市場が円安の追い風もあり大幅増収となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は49億8千9百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

利益面につきましては、生産性向上など売上原価率が改善したことなどから、営業利益は5億1千万円（前年同期比35.8%増）となりました。経常利益は、為替差益5千万円を計上したことなどから5億6千万円（前年同期比40.2%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1千万円（前年同期比42.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 日本

国内向け、海外向けともに自動車関連刃物などが増加したことから、売上高は41億円（前年同期比11.5%増）となり、生産性向上など売上原価が改善したことなどにより、営業利益は2億9千2百万円（前年同期比140.3%増）となりました。

## ② インドネシア

製紙関連刃物及び自動車関連刃物などが増加したことから、売上高は7億1千3百万円（前年同期比7.1%増）となり、営業利益は6千9百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

## ③ 米国

鋼管関連刃物及び自動車関連刃物などが増加し、売上高は3億8千1百万円（前年同期比3.9%増）となりましたが、営業利益は2千万円（前年同期比45.9%減）となりました。

## ④ 欧州

自動車関連刃物などが増加し、売上高は5億9千5百万円（前年同期比21.9%増）、営業利益は6千4百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

## ⑤ 中国

木工関連刃物及び製本紙工関連刃物などが増加し、売上高は5億7千万円（前年同期比19.8%増）となりましたが、営業利益は4千2百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期末における流動資産は151億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千4百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3億3千9百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は128億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ3千万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が前連結会計年度末に比べ3千万円増加したものの、無形固定資産が1千6百万円減少、投資その他の資産が4千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、279億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期末における流動負債は45億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億9千3百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が2億6千2百万円減少、未払法人税等が2億円減少したものの、流動負債その他が8億3千7百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は6億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千4百万円減少いたしました。これは主に固定負債その他が3千7百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、52億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億2千9百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期末における純資産合計は227億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ2億2千6百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が2億1百万円増加したものの、為替換算調整勘定が4億2千3百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.3%（前連結会計年度末は82.8%）となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月14日「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,898,614	5,238,367
受取手形及び売掛金	4,697,882	4,634,975
電子記録債権	572,248	558,256
商品及び製品	1,673,221	1,709,875
仕掛品	944,553	950,801
原材料及び貯蔵品	1,498,122	1,665,498
その他	606,263	364,763
貸倒引当金	△12,300	△9,604
流動資産合計	14,878,605	15,112,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,011,651	3,999,331
機械装置及び運搬具(純額)	4,611,598	4,522,752
その他(純額)	2,593,934	2,725,363
有形固定資産合計	11,217,183	11,247,448
無形固定資産	461,285	445,196
投資その他の資産	1,233,031	1,187,876
固定資産合計	12,911,500	12,880,521
資産合計	27,790,105	27,993,455

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,144,264	2,263,943
未払法人税等	354,227	154,054
賞与引当金	390,913	128,135
その他	1,212,819	2,049,961
流動負債合計	4,102,225	4,596,095
固定負債		
退職給付に係る負債	340,151	313,017
その他	351,210	313,874
固定負債合計	691,361	626,891
負債合計	4,793,586	5,222,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	17,797,680	17,999,646
自己株式	△208,742	△208,742
株主資本合計	21,899,327	22,101,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	486,702	465,022
為替換算調整勘定	669,185	245,775
退職給付に係る調整累計額	△58,696	△41,622
その他の包括利益累計額合計	1,097,191	669,175
純資産合計	22,996,519	22,770,468
負債純資産合計	27,790,105	27,993,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	4,595,352	4,989,256
売上原価	3,040,658	3,261,018
売上総利益	1,554,693	1,728,238
販売費及び一般管理費	1,179,028	1,218,024
営業利益	375,665	510,213
営業外収益		
受取利息	1,643	2,150
受取配当金	6,120	4,800
為替差益	20,162	50,890
その他	12,747	8,494
営業外収益合計	40,673	66,336
営業外費用		
売上割引	11,781	12,103
デリバティブ評価損	2,632	2,535
その他	1,997	1,192
営業外費用合計	16,410	15,831
経常利益	399,928	560,718
特別利益		
固定資産売却益	384	1,984
特別利益合計	384	1,984
特別損失		
固定資産売却損	—	549
固定資産除却損	1,014	1,670
特別損失合計	1,014	2,219
税金等調整前四半期純利益	399,298	560,483
法人税等	112,027	150,012
四半期純利益	287,270	410,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,270	410,470



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	287,270	410,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,472	△21,680
為替換算調整勘定	△247,998	△423,410
退職給付に係る調整額	13,291	17,074
その他の包括利益合計	△197,234	△428,016
四半期包括利益	90,036	△17,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,036	△17,545
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,783,807	523,395	367,190	489,043	290,399	4,453,837
セグメント間の内部売上高又は振替高	894,988	142,112	—	—	186,013	1,223,114
計	3,678,795	665,508	367,190	489,043	476,413	5,676,951
セグメント利益	121,767	59,506	38,229	62,317	48,839	330,659

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	141,515	4,595,352	—	4,595,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	45	1,223,159	△1,223,159	—
計	141,560	5,818,511	△1,223,159	4,595,352
セグメント利益	15,968	346,628	29,036	375,665

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びブラジルの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額29,036千円には、セグメント間取引消去30,369千円、棚卸資産の調整額△2,383千円、その他1,051千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,973,033	553,538	380,901	595,912	282,099	4,785,484
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,127,203	159,470	718	—	288,560	1,575,953
計	4,100,236	713,008	381,620	595,912	570,660	6,361,438
セグメント利益	292,551	69,767	20,696	64,223	42,630	489,869

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	203,772	4,989,256	—	4,989,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	45	1,575,998	△1,575,998	—
計	203,817	6,565,255	△1,575,998	4,989,256
セグメント利益	23,860	513,730	△3,516	510,213

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、ブラジル及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,516千円には、セグメント間取引消去32,831千円、棚卸資産の調整額△35,350千円、その他△997千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 販売の状況

## ① 製品別売上高

(単位：百万円、%)

	前第1四半期実績		当第1四半期実績		前年同期比 (%)	2019年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
平 刃 類	1,437	31.3	1,541	30.9	7.3	5,830	29.8
精 密 刃 具 類	970	21.1	1,021	20.5	5.2	4,300	22.0
丸 鋸 類	2,119	46.1	2,364	47.4	11.6	9,180	47.0
商 品	68	1.5	61	1.2	△9.7	240	1.2
合 計	4,595	100.0	4,989	100.0	8.6	19,550	100.0

## ② 国内・海外別売上高

(単位：百万円、%)

	前第1四半期実績		当第1四半期実績		前年同期比 (%)	2019年3月期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
国 内	2,446	53.2	2,583	51.8	5.6	10,510	53.8
海 外	2,148	46.8	2,405	48.2	11.9	9,040	46.2
ア ジ ア	1,058	23.0	1,167	23.4	10.3	4,370	22.3
ア メ リ カ	507	11.1	564	11.3	11.2	2,180	11.1
ヨ ー ロ ッ パ	543	11.8	643	12.9	18.4	2,300	11.8
そ の 他	39	0.9	30	0.6	△22.8	190	1.0
合 計	4,595	100.0	4,989	100.0	8.6	19,550	100.0